

事業所における自己評価結果(公表)

※児童発達支援

公表： 2021年 4月 1日

事業所名 ILIS CLUB 八尾南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動スペースとしては運営基準を満たしており、保護者の方に満足頂けている。個室での個別対応も出来る。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	法令に従って適切に配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	机はその都度移動させて使用している。フロア内にその他の物を置いていない為、目で見て分かりやすいと考えられる。トイレは車椅子で使用できるように設置している。また、トイレの前にはスロープもある。手すりに関しては現在は設置していない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	児童帰宅後に清掃と玩具や手すり等の消毒を行っており、清潔な空間が保たれている。保護者様にも満足頂けている。フロアには机以外のものを置かず、様々な活動に応じて空間を使用することが出来る。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	日々の朝礼、終礼時または事業所会議の際に実施し、その都度必要に応じて改善を図っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎月のおたより送付時に意見、要望を聞き取る用紙を配布、回収している。保護者向け評価表も配布し個別支援計画や日々の支援の改善に役立てている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	現在は第三者による外部評価は行っていない。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に研修会を開催している。社員個人が参加したい研修があれば、積極的に参加を認め資質の向上を図っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	個別支援計画の更新時や、毎月のおたよりに保護者様の希望や本人の課題を記入してもらい回収、面談を行っている。電話相談や送迎時も活用し計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	全アイリスクラブにて、アセスメントシートの様式を統一して聞き取りを実施している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	ガイドラインに則った「発達支援」「家族支援」「地域支援」の中から必要な支援を選択し具体的な支援内容を設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	日々の朝礼・終礼時に、利用児童の支援内容の確認を行い、個別支援計画に沿った支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	定番のプログラムにおいては勤務スタッフによるところが多い。講座や大きな行事イベントではしっかりとスタッフ間で意見を出し合い相談した上で活動プログラムを作成している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	日々、週毎、月毎の活動プログラムを検討の上、固定化しないように工夫をしている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	適宜、個別支援計画の更新時において、個別活動と集団活動を組み合わせる作成している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	日々の朝礼にて確認している。講座や個別療育を行う際もスタッフ間で綿密な準備や話し合いを事前に行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	講座や個別療育の終了後、最終送迎終了後には在所スタッフにて報告と振り返りを行っている。その日に不在のスタッフには引継ぎノートを活用して共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の支援に関しては、毎日全利用児童の様子を業務日報に記録し、今後の支援の検証・改善に繋げる事ができるようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	三か月に一度のモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0%	0%	どちらともいえない。相談支援事業所の担当者会議には毎回参加出来ていることはなく、今後参加出来るように調整等したい。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	相談支援員との連携を行っており、利用時の様子や困りごとなどを保護者の同意を得たうえで担当者からお伝えさせて頂いている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%	どちらともいえない。現状は医療的ケアの必要な児童は利用していないが、今後必要があれば、関係機関と連携した支援を行っていききたい。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%	どちらともいえない。現状は医療的ケアの必要な児童は利用していないが、今後必要があれば、関係機関と連携した支援を行っていききたい。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	0%	どちらともいえない。日々の利用時や電話連絡等で情報の共有、相互理解に努めているが、十分ではない。今後必要に応じて積極的に情報共有等していききたい。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0%	100%	親御さんからの求めがあれば応じている。今後についても必要があれば情報共有等していききたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機関 や 保護 者 と の 連 携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%	今後、必要があれば専門機関との連携や助言、研修等を取り入れていきたい。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%	現在のところ上記のような交流や活動はできていない。今後、必要があれば検討していきたい。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%	協議会等が存在しない為、参加していないが、今後協議会が発足した場合は積極的に参加したい。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日々の利用児童の詳細については、連絡帳や送迎時に伝えている。更に必要があれば保護者に電話連絡をする事により、状況や課題等共通の理解が出来ている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	日々の利用児童の詳細については連絡帳や送迎時に伝えており、必要があれば保護者に電話連絡をすることにより、お子様の状況や課題への対応についてアドバイスも行う。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に説明を行っており、変更等があった場合にも書面と口頭での説明を行うようにしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	契約時に説明を行っており、変更等があった場合にも書面と口頭での説明を行うようにしている。保護者様にも同意頂けている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	児童の発達段階や年齢に応じて悩みや相談には適切に対応している。必要があれば、助言等も行っている。今後も保護者に寄り添い、色々な相談をしてもらえるように関係を築いていく。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%	どちらともいえない。これまで年2回以上の親の会の開催を行って保護者間の連携を支援して来たが、今年度は新型コロナウイルスの影響で開催が出来なかった。オンラインによる保護者相談会は開催したが、保護者様同士の連携支援に関しては難しい面があったとも感じている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談や申し入れを受け入れる担当者を決め、利用児童や保護者に周知をしている。苦情も含め、相談や申し入れがあれば誠意をもって迅速かつ適切な対応をしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	ホームページや、定期的に発行するおたよりで活動内容や行事予定、連絡体制等の情報の発信をしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	契約書類関係、個別支援計画、受給者証等の個人情報については、保管する書庫の管理・施錠を徹底し、日々の運行計画表はその日のうちにシュレッダーにて破棄している。ホームページやおたよりは許可を得た上で写真を掲載し、個人情報が流出しないよう注意している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	言葉だけでなく、子どもには絵カードや写真等を用いて情報の伝達を行っている。上記の「おたより」にはすべてルビを付けるようにしている。保護者対応については、送迎時に様子をお伝えし、必要に応じて電話にて詳細を連絡している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	現状はできていない。今年度は新型コロナウイルスの影響で開催が中止となったが、地域の行事(秋祭り)等には、寄付をする等で協力してきた。来年度に開催されれば協力したい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	策定できている。いつでも職員が閲覧できるようにしている。保護者には定期的におたよりに緊急時ダイヤルのお知らせを送付している。親の会等の際には説明と資料の回覧を行うようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	毎月1回以上の訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	保護者様から児童の健康状態についてご利用当日の朝に確認を行っている。服薬中の薬の処方箋の写し、医師の指示書をいただき、それに基づいた対応が出来る。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者から医師の指示書をいただき、それに基づいた対応が出来る。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	自事業所アイリスクラブ他事業所でのヒヤリハットの報告書をファイリングし、全スタッフが必ず閲覧の上、必要に応じて話し合い、実際の報告書の内容を共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に「虐待防止研修」やその他の研修会を開催している。また、参加したい研修会があれば積極的に参加できるように体制を整えている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	現在、やむを得ず身体拘束を行う可能性のある児童はいないが、必要が生じた場合には適切に対応する準備は出来ている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。